

名 媛 了 解 吉

柳烟亭種久作

上

^ 13
3738
8





一の形
 海へ出

一徳の象

千八百人上

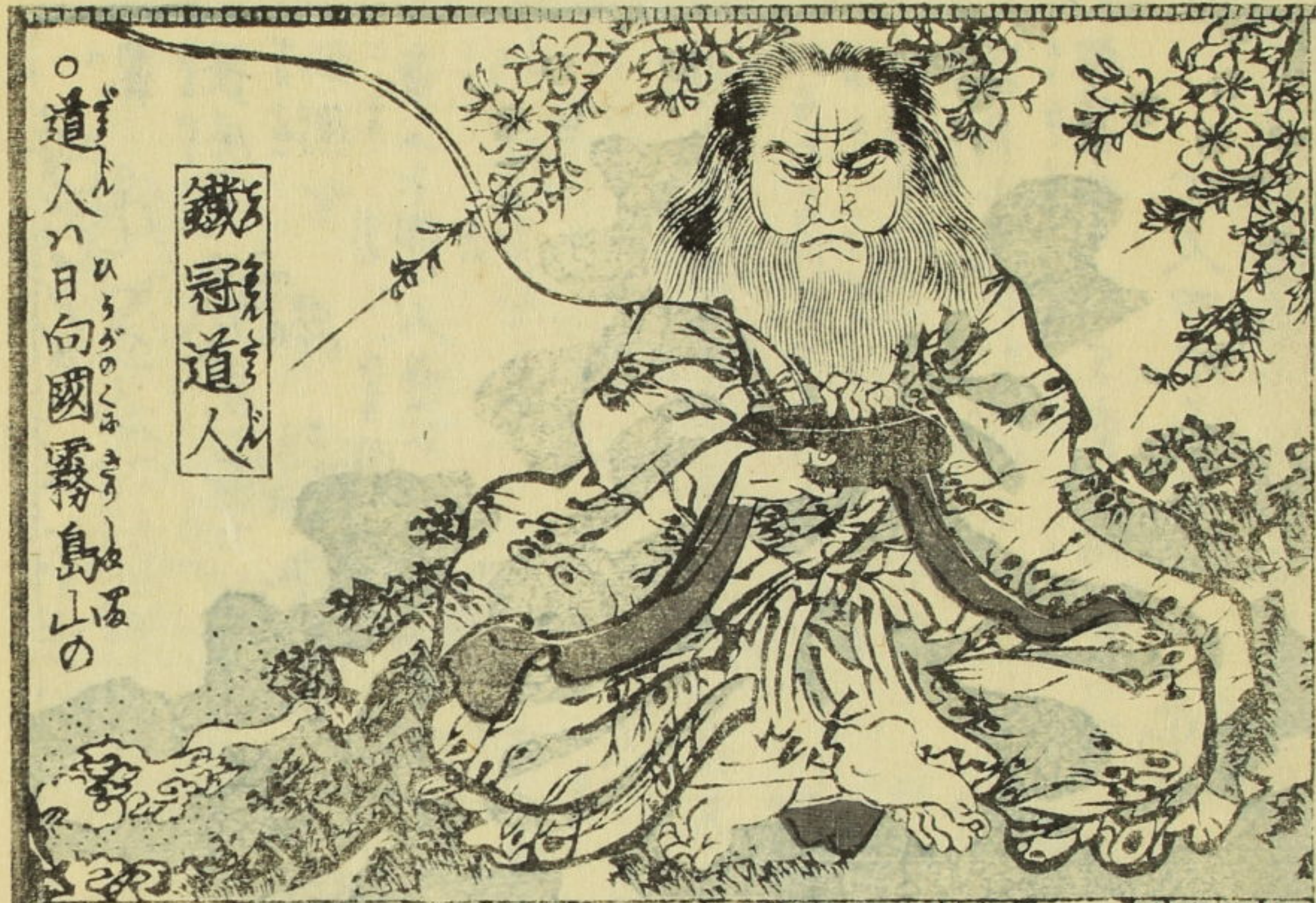
一魚 甘泉堂 梓

費長房 仙術と
 壺公小窓ふ壺公
 朽らるる素と
 千斤の石を心の土り
 懸る長房長は為ふ
 心らこの心去のりら
 今茲ふ千菊丸が難行苦行と
 霧島山に試むる。條ゆ至りて
 桃花仙が朽らるる素と釣磐石と

群衆の
 来て啗音の廟るふ
 さ心らるる枯木死成ふ
 異あゝぬ。是を禪家
 の費長房。述者の胸に
 朽索で千斤の石を
 荷あくる心地さへて
 最重き筆をちらせ
 先一帳の重荷を
 物の何より税を
 許邪と。

柳煙亭種久識

文久四甲子孟秋

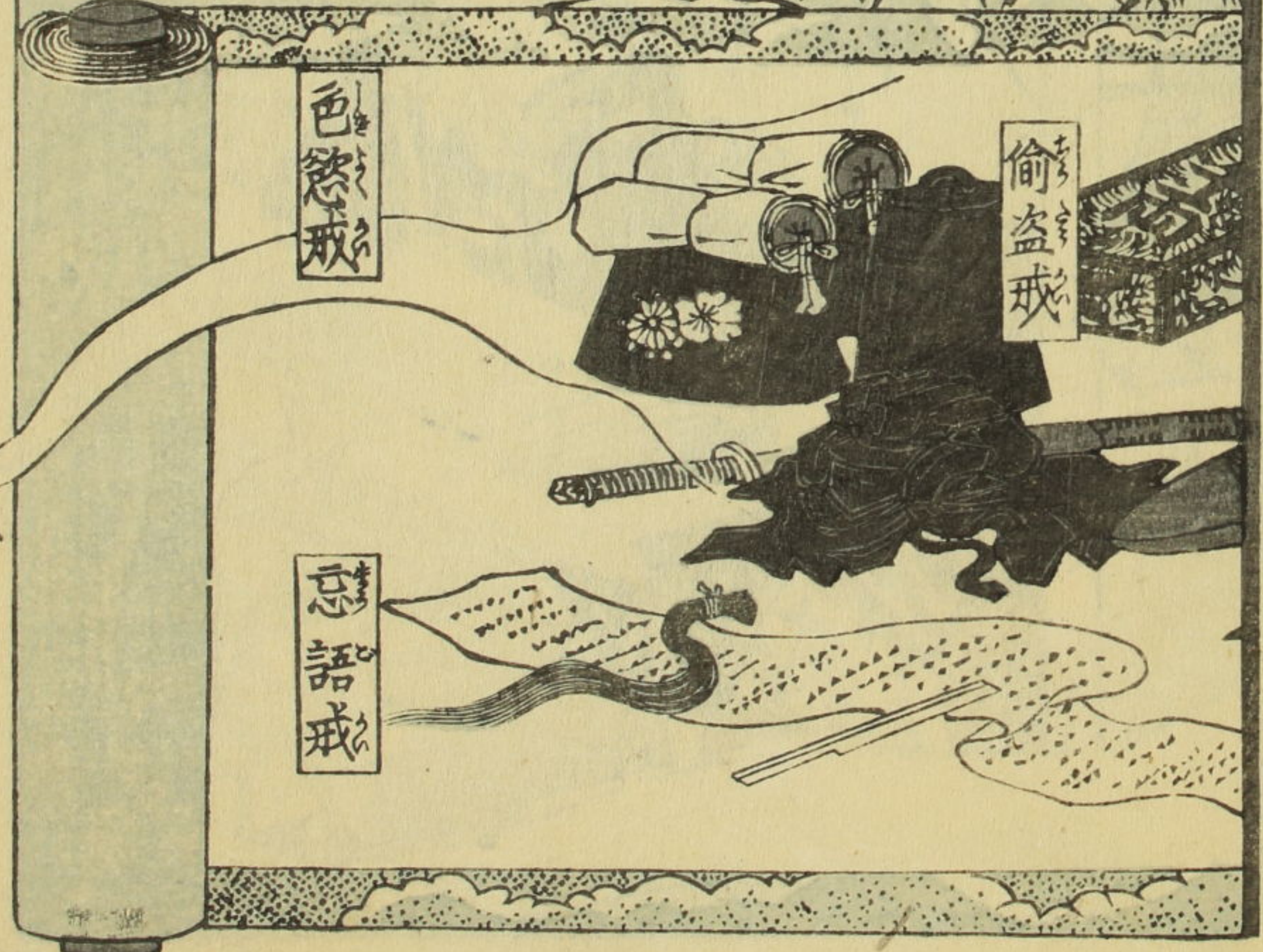


鐵冠道人

○道人日向國霧島山の

絶頂觀念窟の結跏
 跌坐一能雲を駕し
 風に乗し陰陽五行の鬼神を
 役し坐する千里の外を知り
 蒼生の爲に病を除去すこと
 雪の熱湯を灑か如し其年々
 問は笑て答は好で桃の花を愛せ
 故に桃花仙といひ又桃の翁とよぶ
 千菊丸の難行を試みし其の巻中
 小具あれと稜華して記すものを

一木一石



偷盜戒

色慾戒

忌語戒



濕酒戒

殺生戒

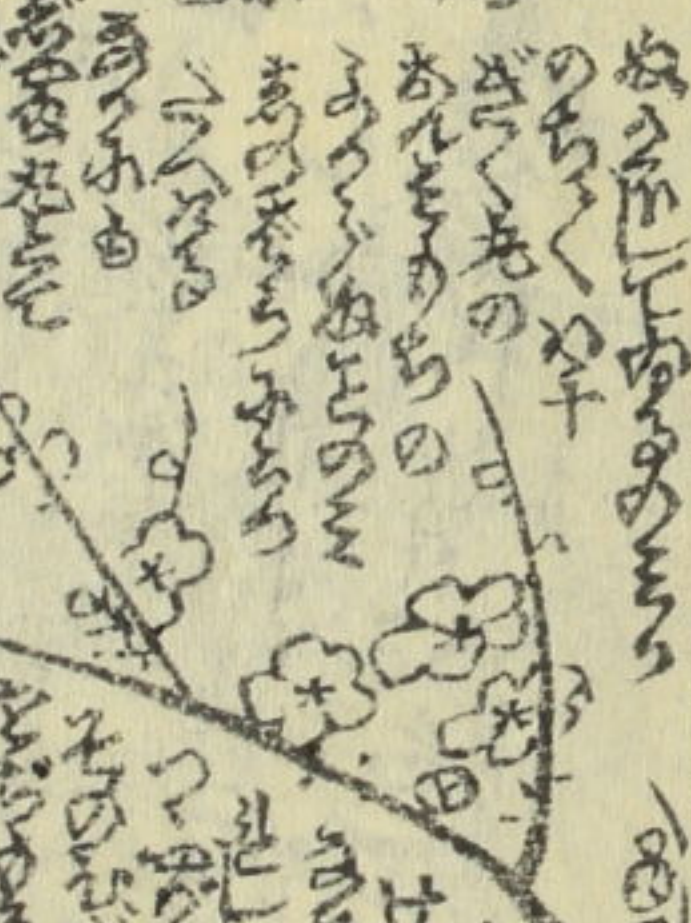
五戒破禪圖卷 完



Handwritten text in a medieval script, likely Latin or German, arranged in columns. The text is dense and covers most of the page, with some lines interrupted by a large illustration.



Handwritten text in a medieval script, likely Latin or German, arranged in columns. The text is dense and covers most of the page, with some lines interrupted by a large illustration.







木一五



一五



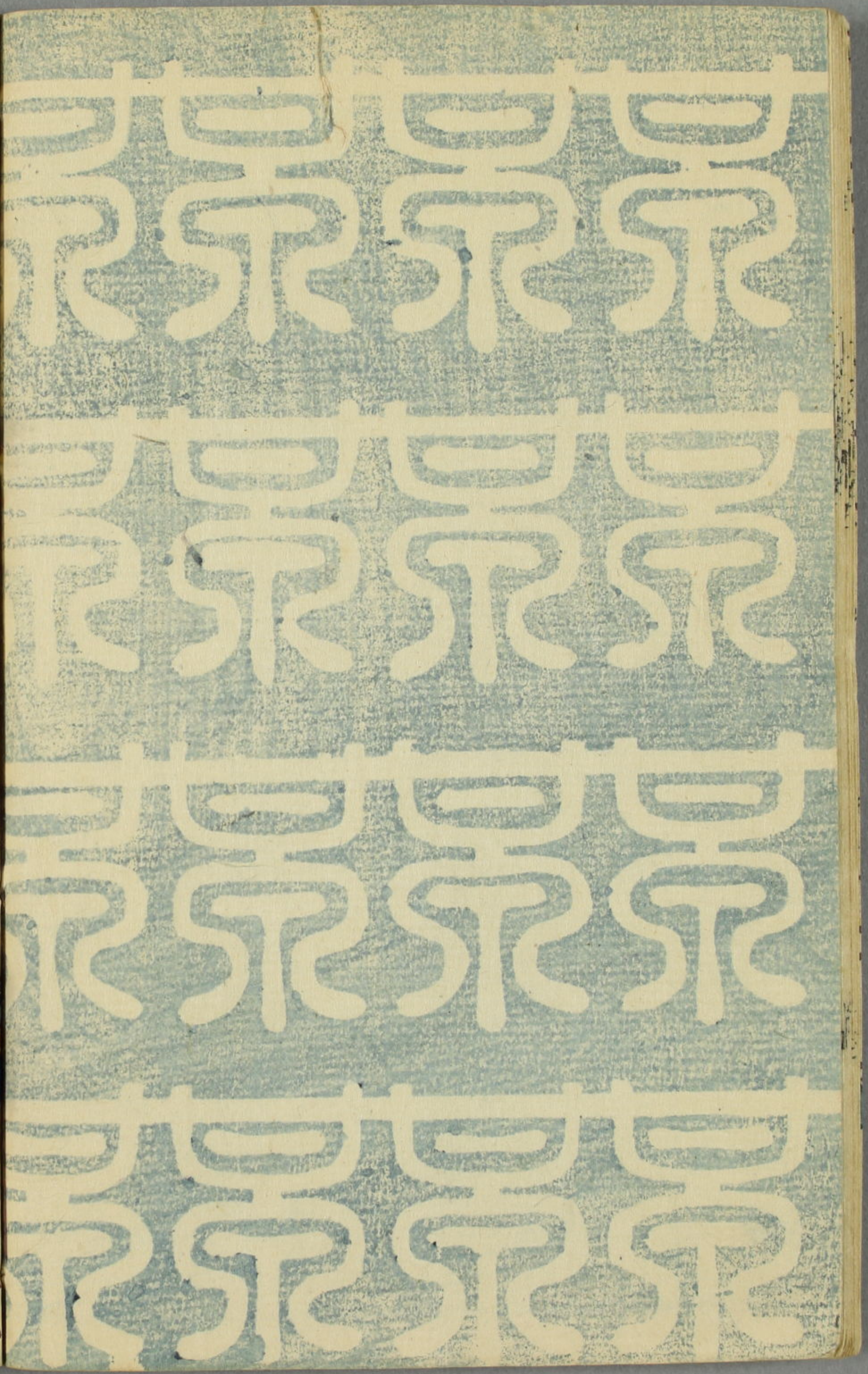


蕉好齋國貞画

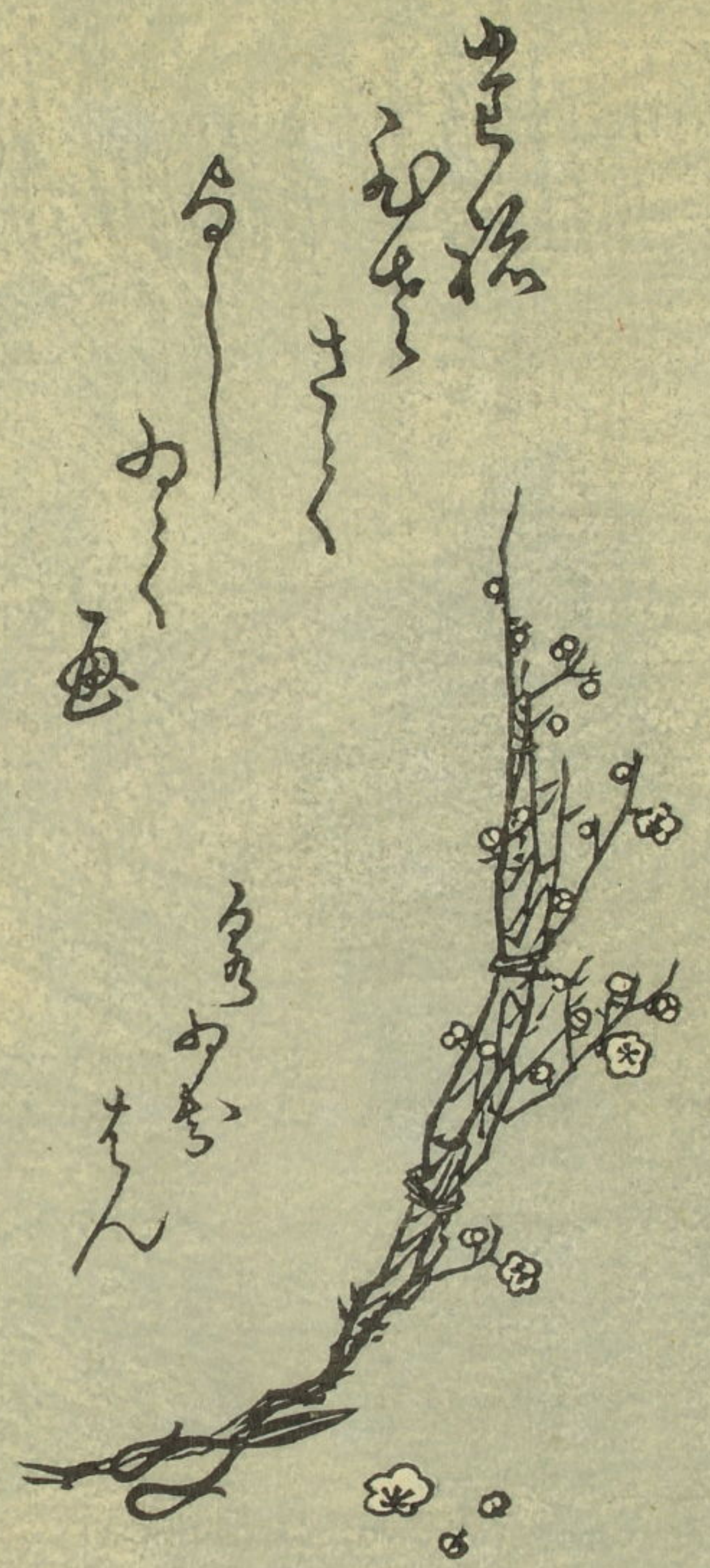
一惠齋芳幾画

いづれを
十
五
海

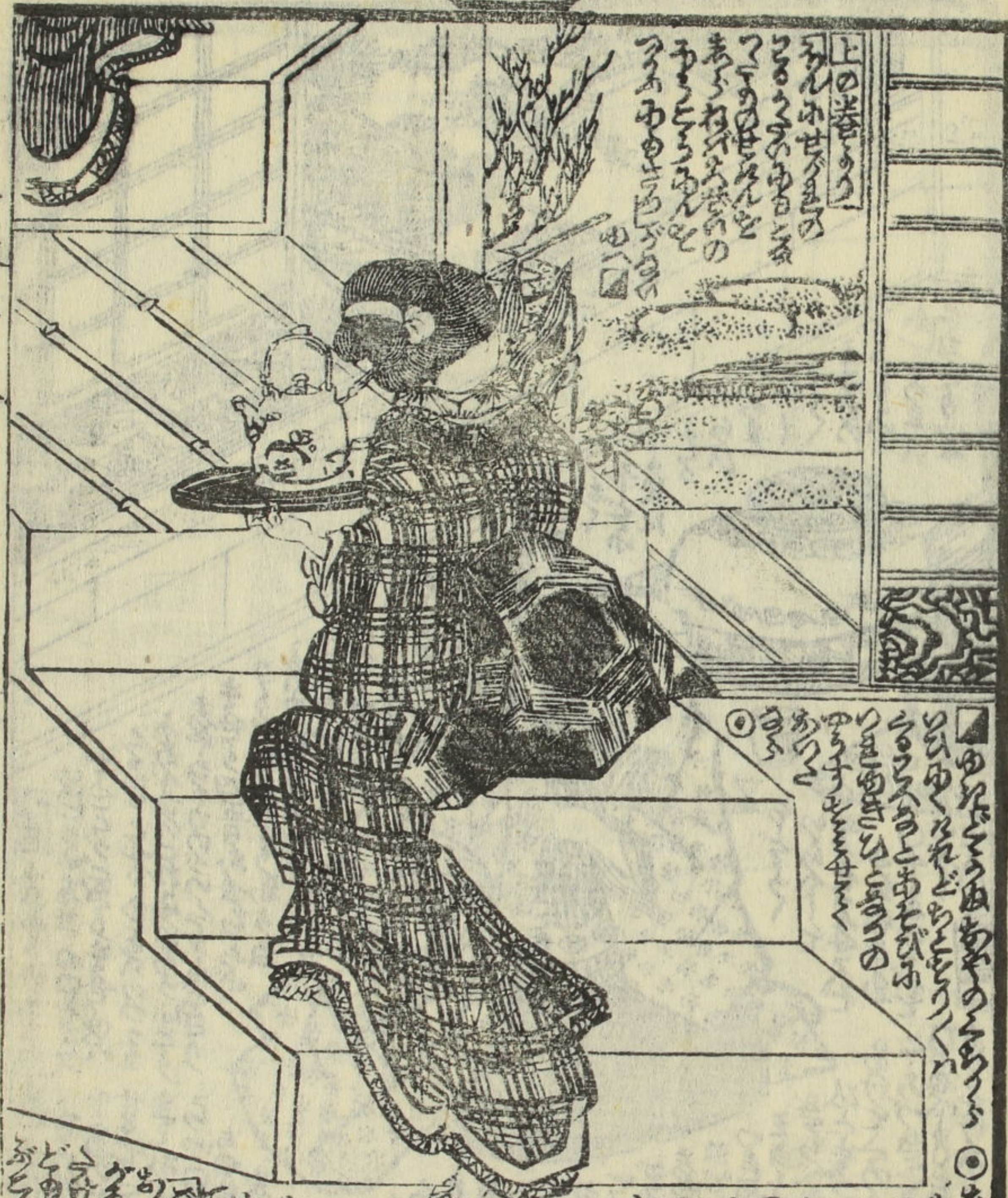
下



伍名
 反古
 一休草紙十五編下



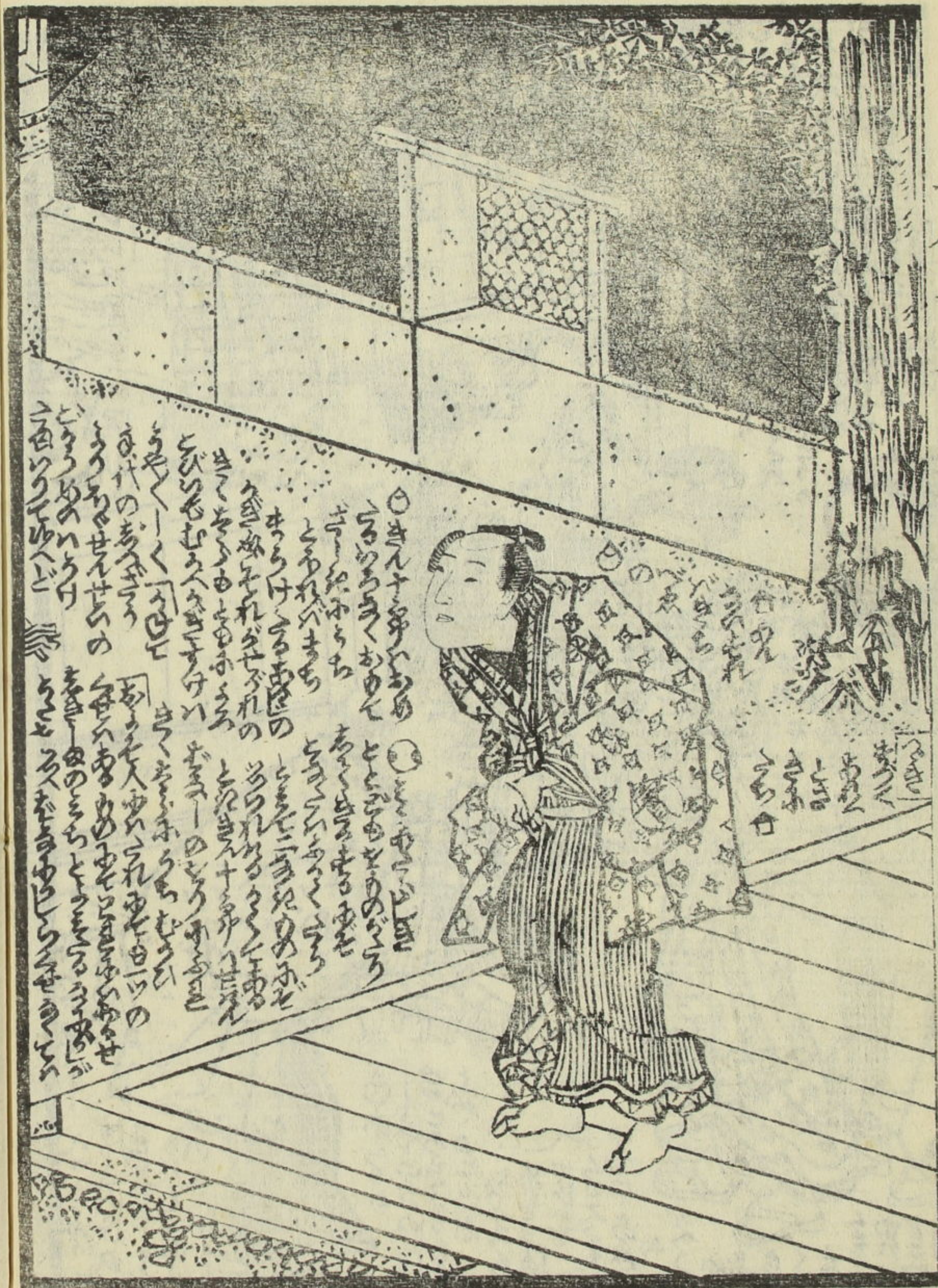
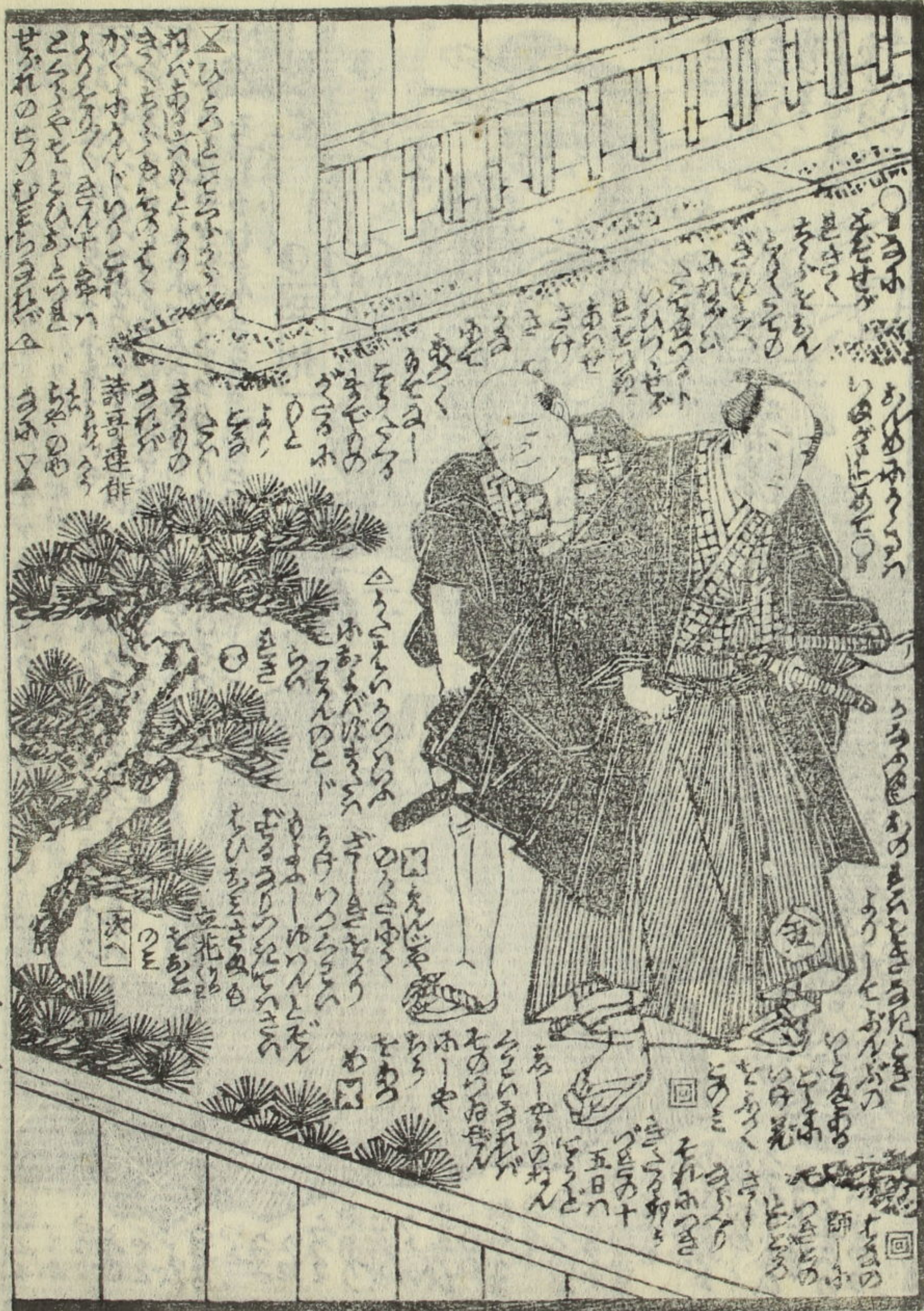
三
 三



上の巻の
 三
 三

三
 三

三
 三



慶應二寅歲孟陽發兌

新版書曰
兒雷也種清
黃金水春木
一休種久
以呂波全
關之戸全
右之通
甘泉堂

種久作芳幾画



兒雷也豪傑譚

四十三編柳下亭種員作
四十四編一壽齋國貞画

新編金瓶梅

初編分
十編迄
大尾
一陽齋豊國画
曲阜馬琴作

不思議塚小説櫻七編八編
種清作 國貞画

小女郎蜘蛛怨草環

初編ヨリ
三編迄
大尾

櫻蔭花園守

種久作 芳虎画

一勇亦玉勇画

芝神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛板

